

レポートの書き方

情報の科学 第4回授業

02基礎の確認

レポートの種類

- 実験(理科)
- 調査(社会・情報)
- 報告(委員会)
- 課題をする(数学) など

相手に情報を「伝える」ことが目的。

自分だけがわかるような書き方ではダメ。

レポートの「常識」

☆守れない場合は減点

1. レポート用紙を使う(白紙も可:印刷の場合等)
ノートの切れ端、ルーズリーフは非常識
2. 表紙をつける
表紙には、タイトル、締切日と提出日のほか、
自分のクラス、番号、氏名などを記入
3. レポートは、ホチキスで上部2カ所留めて出す。
クリップ、折り曲げは厳禁

※その他、「情報」では、特に指示がない場合は「B5」サイズで提出すること。

レポートの内容

基本的な内容： レポートによって構成は異なる

1. 目的
2. 原理・仮説
3. 手順
4. 結果
5. 結論・考察
6. 今後の課題
7. 感想
8. 参考文献

など

1. 目的

- レポートに書かれていることからの目的
何のために実験・調査を行ったのか、など。
「課題」の場合は、予め示されることが多い。

例)

「なぜ1年〇組は「Hardbank」携帯電話のシェアが1番なのかを解明する」

「徳川家康が江戸幕府に与えた影響について考える」

「数学 I 第1章章末問題を解き二次関数の応用力を身につける」



2. 原理・仮説

- 原理 ……わかっている「公式」「理論」

あらかじめわかっている公式や理論などを、実験やシミュレーションにより本当かどうか確かめる場合

- 仮説 ……自分たちの「推測」「想像」

本当かどうかわかっていない時に、自分たちの推測をもとに実験や調査、シミュレーションを進めていく場合

※単なる「調べ学習」や「問題を解く」などの課題の場合は、省略されることが多い。



3. 手順

- どのようにして「実験」や「調査」を進め、課題を解決していくのかを具体的に記す。

悪い例)

インターネットで調べてエクセルで表をつくりパワーポイントにまとめる

良い例)

「仮説を確かめるために、1年〇組〇名に無記名アンケート調査を行った。

質問内容は ... 」

「塩酸100mlにBTB溶液を入れ、水酸化ナトリウム水溶液を20mlずつ加えてそれぞれ様子を観察する」



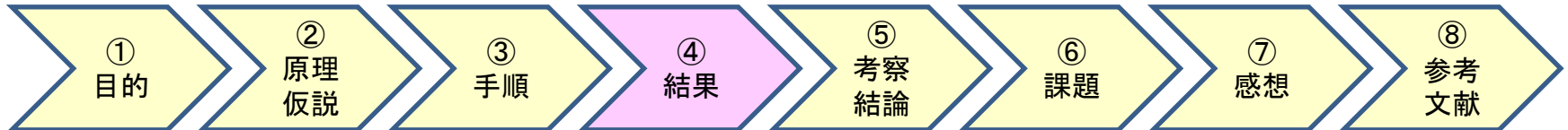
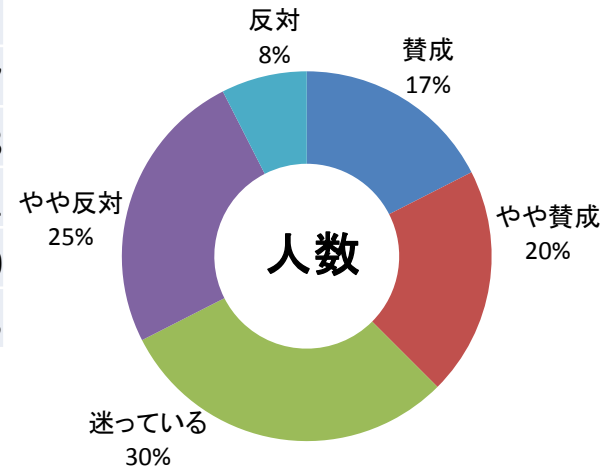
4. 結果

- 観察結果や調査結果などの「事実」を具体的に記す。表やグラフなどを利用すると良い。

例)

溶液	色
0ml	黄
10ml	黄
20ml	黄
30ml	黄緑
40ml	黄緑
50ml	緑

回答	人数
賛成	7
やや賛成	8
迷っている	12
やや反対	10
反対	3



5. 考察・結論

- 「結果」をうけて、なぜそうなったのか等を記入する。
- 内容的なことをよく考えて記入すること。

レポートのメインの内容。

- 論理の飛躍に注意。言葉を上手に選んで。
- 考察が「ない」レポートは「中身のない」レポート。
よく考えて内容を充実させること。



6. 課題

- 今回の実験や調査で、新たに発見された内容や解明しきれなかった内容を整理してわかりやすく記す。
- 決して個人の「反省」ではないので注意すること。

悪い例)

「今回は、グループの協力がダメだったので、次回はしっかりと行いたい」

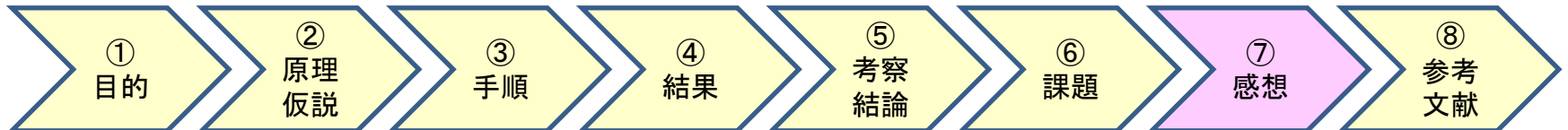
良い例)

「『育児時間』の増加だけでは『仕事時間』の減少すべてをまかなうには至らない。『買い物時間』などの関連も調査することが今後の課題である」



7. 感想

- 「情報」のレポートでは必要なし。
他の教科・科目に関しては、担当の先生の指示に従う。
- 書いても「内容」とはみなさず、空欄として扱う。
それによって内容が減ることになるので注意すること。
- 「感想」を書く時間があれば「考察」を充実させる。



8. 参考文献

- 教科書「資料 6」ページの例を参考に。

※いろいろな形式があるが、情報のレポートでは、
[著者][タイトル][出版社][ページ]の順に記すこと。
また、Webサイトの場合はURLと閲覧日を記すこと。

例)水越敏行 村井純 生田孝至 編「情報の科学」(日本文教出版・2013年・資料6)
小原格「情報科準備室～小原研究室」<http://www.johoka.info/> (2013/4/23閲覧)



9. よくある質問(1)

Q 手書きよりもワープロの方が評価が高いのでしょうか。

A あまり関係ありません。

ただ、手書きの場合、相手に「伝える」という意味で、乱暴な字の場合は減点の対象になりますので注意してください。

また逆に、とてもていねいで読みやすく、「伝えたい」熱意が伝わってくるレポートは評価が高くなる場合もあります。

Q 提出日に風邪などで休んでしまい、提出できませんでした。もう受け取ってはもらえないのでしょうか。

A 判明した時点で先生に相談しなさい。それぞれの事情で判断します。

基本的に「定期考査の代わり」ですので、試験を無断で休み、特に連絡もなければ、当然「放棄」(試験を受けていないので0点以下)として扱います。

何らかの事情があった場合は、まずはすぐに先生に説明し相談すること。

9. よくある質問(2)

Q たくさん書いたのに、点数が低いのですが…。

A 与えられた「条件」や「評価の観点」を見えていますか？

それぞれのレポートには、決められた評価の観点があります。それらの観点から外れていれば、どんなに頑張ってたくさん書いても良い評価は得られないので、まずは課された「条件」「観点」を良く読み理解することが必要です。

一般に、「考察」がレポートの中心となる内容ですから、考察が充実しているかがひとつの大きなポイントになります。また、「考察」と書かれていても、実は自分の考えではなくどこからか取ってきた内容を並べただけであったり、あるいは単なる「感想」である場合は、当然評価は低くなります。

Q 用紙の大きさがわかりません。

A 「情報の科学」教科書を閉じた大きさが「B5」です。

多くの場合(特に情報)はこの大きさでの提出なので覚えておきましょう。